

備前市事務事業評価表

事務事業名	放課後児童クラブ事業		コード	担当課係	福祉事務所子育て支援係
			02-01-01-08	担当者	周藤和美
事業実施期間	平成16年～		電話	64-1853	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	子育て支援			
	施策	放課後児童クラブ（学童保育）の充実			

事業について	
目的	保護者が就労により放課後の家庭保育に欠ける小学校低学年の児童の健全育成を図る。
対象 (誰のために)	放課後の保育に欠ける小学校低学年（おおむね小学校1年生から3年生）の児童
内容	事業を各放課後児童クラブ運営委員会に委託し、小学校の空き教室等を利用して対象児童を保育する。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など	回数など	回数など
クラブ開設数	10 クラブ		
長期休業日開設クラブ数	6 クラブ		
利用児童数	129 人		
施設維持補修か所数	3 か所		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	15,654	国庫補助金等	6,662	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	6,775	受益者負担	8	人件費		受益者負担	
	合計	22,429	一般財源等	15,759	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.80	人		
結果指標名	クラブ開設数			
結果指標量	10			
単位	クラブ			
対前年比	—			
事業費	20,209,000	円		
単位当たりコスト①	2,020,900	円		
結果指標名	利用児童数			
結果指標量	177			
単位	クラブ			
対前年比	—			
事業費	20,209,000	円		
単位当たりコスト②	114,175	円		

事業の成果			
成果指標名	利用率	式又は説明	全入会者/定員
成果指標量	80%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年

(平成17年度事業)

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	市民ニーズがあり、放課後児童の安全確保や仕事と子育ての両立支援を支援する上で、必要な事業である。 また、利用児童の増加が見込まれるとともに、対象児童の拡大を求める市民ニーズがあり、開設場所の確保が困難なクラブができる可能性がある。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	市民ニーズの妥当性	運営委員会に事業を委託することにより、画一的な実施方法でなく、市民ニーズに応じて地域の実情にあった開設ができる。しかしながら、運営委員会は、事務処理の専門知識を持つ人が少なく、支援や調整が必要なクラブが多いのが現状であり、クラブ全体の事務員の配置や小学校の空き教室等を利用しているクラブが多いため、教育委員会との連携を求める保護者の要望があり、実施方法について検討の必要がある。
	市民の関与の妥当性	
	職場の効率化	
市民参画度	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	
コメント	今後とも、地域のニーズに応じた開設が必要。開設場所の多くは小学校であり（7クラブ）、諸課題の解決には教育委員会との協議が必要となる。また、利用者が小学校児童であるので、教育委員会の積極的な関与が必要と考えられる。このため、平成19年度創設予定の教育委員会が主導して福祉部局と連携を図りながら実施する総合的な放課後児童対策「放課後子どもプラン」の実施について検討する必要がある。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	10クラブ	結果指標量②	190人
目標値	結果指標量	85%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	民間委託の可能性の検討や全放課後児童を対象とした総合的な放課後児童対策事業の検討に向けて教育委員会と連携を図っていく必要がある。	毎年	放課後におけるすべての児童の安全で健やかな成長を支援することができる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。